

4

障がい者の人権

どうしてマークが必要なの？

1 学習対象

小学校4年生～6年生

2 ねらい

身のまわりにある障がい者に関する様々なマークについて知り、どうしてそのようなマークが必要なのか考えることをとおして、障がい者の人権を守ろうとする意識を育て、行動につなげられるようにする。

3 準備するもの

○ワークシート

○①～⑤のマークを拡大したもの（黒板掲示用）

○ワークシートの障がいに関するマークのイラストを拡大したもの（黒板掲示用）

4 解説

身近にあるマークをきっかけにして、障がいへの理解を深め、自分には何ができるのかということを考えていくワークです。各マークの名前と意味は、次のとおりです。ワークの実施にあたっては、（ ）内に示した機関のホームページなどを参照してください。

	マーク	マークの名前と意味
①		障害者のための国際シンボルマーク 障害のある方が利用できる建築物、施設であることを示す世界共通のシンボルマークです。 (公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会)
②		身体障害者標識 肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマークです。 (警察庁、神奈川県警察本部)
③		聴覚障害者標識（聴覚障害者マーク） 政令で定める程度の聴覚障がいのあることを理由に運転免許に条件を付された方が車に表示するマークです。 (警察庁、神奈川県警察本部)
④		ヘルプマーク 義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマークです。 (神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害福祉課)

5 進め方（展開例） 45分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 8分	<p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（6分）</p> <p>①①～⑤のマークは、何を表しているのか考え、ワークシートに書く。 (①非常口 ②温泉 ③キャンプ場 ④図書館 ⑤老人ホーム)</p> <p>②このようなマークで表現することの良さを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業の流れを簡単に説明する。 P4【学習の約束】を伝える。 ワークシートを配付する。 ①～⑤のマークを提示する。 案内表示や地図記号であることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート
<p>・マークで表現することで、「一目でわかる」「言葉が分からなくても伝わる」などの良さがあること気づく。</p>			
展開 32分	<p>◆アクティビティ（32分）</p> <p>アクティビティ1</p> <p>「マークから考えてみよう」</p> <p>①マークの意味について考え、ワークシート（1）に書く。</p> <p>②表のマークの意味と名前を聞く。</p> <p>アクティビティ2</p> <p>「『障がいに関するマーク』は、どうして必要なのでしょう。」</p> <p>③障がいに関するマークが必要な理由について考え、ワークシート（2）に書く。</p> <p>④書いた内容について、グループで意見交換をする。</p> <p>⑤全体に発表して共有する。</p> <p>⑥この様なマークを見かけた時、自分にできることを考え、ワークシート（3）に書く。</p> <p>⑦全体に発表して共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> デザインからどのような意味なのかを予想し、ワークシートに書かせる。 それぞれのマークの意味について説明する。 障がいに関するマークは他にもたくさんあることを紹介する。 「一目でわかる」「言葉が分からなくても伝わる」マークの良さを伝える。 人によってニーズが異なるため、本人の希望を聞いたり、その場の状況を考えたりして、その人が必要とする配慮や支援をすることが大切であることを補足する。 	<p>※その他のマークは、内閣府ホームページ 障害者に関係するマークの一例など参照</p>

<p>まとめ 5分</p>	<p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの話を聞く。 ・振り返りをワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業をとおして児童から出された考えや記述をもとに、ねらいをおさえ、まとめる。 ・身近にあるマークに興味をもち、調べていくことについても声をかけて価値づけする。 	
<p>・社会には多様な人々が暮らしていることをふまえ、生活をする中で、お互いに相手の状況や気持ちを理解し、配慮や協力などを行うことが大切であることに気づく。</p>			

<参考資料など>

「人権学習ワークシート集 一人権教育実践のために 第14集（小・中学校編）ー」

神奈川県教育委員会（平成26年2月）

「障がい者に関するマーク」 神奈川県ホームページ 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害福祉課

「新しく生まれた地図記号」 国土地理院ホームページ

「標準案内用図記号ガイドライン2021」 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団（令和3年8月）

「障害者に関するマークの一例」 内閣府ホームページ

アイスブレイキング

黒板に、**1**~**5**のマークを貼ります。

○何を表しているマークでしょうか。

1



2



3



4



5



○「マークで表す良さ」とは何でしょうか。考えてみましょう。

マークから考えてみよう

()年()組()番 名前_____

○何を表しているマークでしょうか。

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

(1) 「障がいに関するマーク」について、考えてみましょう。

マーク				
マークの意味				
マークの名前				

(2) 「障がいに関するマーク」は、どうして必要なのでしょう。

(3) この様なマークを見かけた時、あなたにできることを考えてみましょう。

(4) 今日の学習で学んだことや、考えたことを書きましょう。